

Sunny Press ~3rd~ [No.3]

高校最後の夏休み

いよいよ高校生活最後の夏休みです。この夏休みをどう過ごすかで、今後の進路が大きく変わってくる人もいるでしょう。西乙祭のクラス活動の成功も夏休みの使い方が大きく影響するでしょう。来年3月の卒業式が全員良い表情で迎えられるように、是非人生で一番有意義な夏休みを過ごしてください。皆さんそれぞれ過ごし方は異なると思います。ただし、皆さん全員に共通していることもあります。それは、『人生にはリセットボタンも巻き戻しボタンも無い』という事実です。ご注意ください。

夏休み38日間の必勝法

（その一）計画を立てる

この夏休みに取り組む参考書や問題集を決め、それを44日間の中でやりきる。例えば、

- 英語 1日1題長文問題に取り組む、単語帳を2周り覚える
- 国語 1日1題現代文や古文の問題に取り組む、古文単語帳を2周り覚える
- 数学 数Ⅰ・Aや数Ⅱ・Bの問題集を一冊やりきる

のように具体的な計画を立て、それを週単位で6つに割り（夏休みは約6週間）、さらに日曜を除いた6日間で割り、1日あたりの学習量（どの科目をどれくらいやるか）を算出する。日曜日は予備日としてフリーにしておき、月曜から土曜までにやり残したことをする。1週間の勉強時間はトータルでとらえ、その中でノルマをこなせるようにする。

（その二）早寝早起きで規則正しく過ごす

夏休みの過ごし方の鉄則は「早寝早起き」。人間の脳は朝から昼にかけて活発に働き、太陽の動きと共に夕方から夜にかけて働きが低下するそうです。昼間遊んで、夜はスマホでやりとり、睡眠時間を削って夜中にやっと勉強というのでは効率も悪いし、健康的にもよくありません。日付が変わるころには床に就き、遅くとも朝7時には起床し、学校があるときと同じ時間（6時間）は勉強するようにしよう。家で集中できないときは、冷房の効いた自習室や公設の図書館等に出向き、そこで勉強するのもいいですよ。

調査書の発行、推薦書の依頼等について

HRで指導があったとおり、調査書、推薦書等の発行手続きには決められた手順と時間を要します。いつ必要なのか、どのような書類が必要なのか、何枚必要なのか等について自分でしっかり把握し、計画的に手続きに入ってください。早め早めに動きましょう。

今後の主な行事予定



7月

7/20（木）	終業式 大掃除
7/21（金）～	保護者面談
7/21（金）～7/26（水）	夏季講習Ⅰ
7/27（木）～8/1（火）	夏季講習Ⅱ

8月

8/13（日）	全統マーク模試（校外）
8/22（火）～8/25（金）	夏季講習Ⅲ
8/28（月）	始業式 課題テスト
8/29（火）～	40分×⑤限授業、⑥限～西乙祭準備

9月

9/6（水）、7（木）	西乙祭（6（水）：青空劇場本番！）
9/10（日）	第2回全統記述模試
9/16（土）	第1回ベネッセ駿台マーク模試

～受験生に贈る言葉～

下記の文章は本田技研の創業者である本田宗一郎さんが残した言葉です。受験生を鼓舞する言葉でもあると感じるので紹介します。梓にはまるな、殻を破れ、受験生！

『梓にはまるな』

自分の限界を、
自分で決めていないか。
過去の常識にしばられていないか。
本来、人間は自由な存在だ。
自由であるはずの人間が、
自ら自由を手放してどうする。
しよせん限界も常識も過去のもの。
自由な創造を邪魔する過去など、
忘れてしまおう。
新しい知恵で困難に立ち向かえ。
時代の先をゆけ。
今までの梓の中に、
未来はないのだから。
そう、僕たちはなんにでもなれる。
僕たちは、どこへでもゆける。